

【福祉・保健グループ】

穂高東中 松田 鳳羽

私は、穂高東中学校2年、松田鳳羽です。

福祉・保健グループでは、介護保険、健康予防について、障がい者福祉について、地域福祉について学習しました。そこで、各議員から質問させていただきます。

私は、介護保険と健康予防について、お尋ねいたします。

私が課題だと考えることは二つあります。一つ目は、介護費への出費が多いということ、二つ目は市民の運動する機会が少ないということです。

なぜこのような状況が起こっているかということ、施設に入所する高齢者が多いということ、市内に運動施設が少ないということが原因だと考えました。

そこで、私は市営で気軽に利用のできるトレーニングルームの設置を提案します。その実現のため、私は今やっている部活動などを通してスポーツを通じた仲間づくりを行い、生涯を通してスポーツができる関係づくりをしていきたいと思っています。そのため、市ではトレーニングルームをつくっていただきたいと思っています。そうすることで、若いうちから運動する機会が増え、年を取ってからも健康的な体づくりをすることができ、施設に入所するのを先延ばしすることができるので、介護費の削減にもつながるのではないのでしょうか。また、トレーニングルームは、世代に関わらず使用できるため、将来有望なスポーツ選手も増え、オリンピックやパラリンピックへ出場する選手も増えるかもしれません。

私は、日々の部活動や学級活動、生徒会の中でスポーツを通じた仲間をたくさんつくることのできるよう、最大限務めていきたいと思っています。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 保健医療部

【福祉・保健グループ】

豊科北中 寺島 遥夏

私は、豊科北中学校2年、寺島遥夏です。

私は、障がい者福祉についてお尋ねします。

今年、ブラジルのリオデジャネイロで、オリンピック・パラリンピックが開催されました。パラリンピックには、安曇野市出身の樋口政幸選手も出場され、5千メートルで4位という成績を残されました。

つい先日、樋口政幸選手の講演会が学校で行われ、樋口選手の活躍やその裏にある努力についてお聴きしました。しかし、講演会でお話をお聴きするまでの私は、樋口選手についてよく知りませんでした。このことは、樋口選手だけでなく、障がいのある方が普段安曇野で、どのような生活をし、どのような活動をされているのか、知る機会が少ないことが原因なのではないでしょうか。

今回の学習会では、福祉について学び、市から、手当の給付や医療費に対する支援などが行われていることを知りました。ですが、生活面で支援をしてもらっても、それだけでは満ち足りた気持ちでは生活できないと思います。私は、障がいのある人とない人がもっと知り合える機会、交流の場を増やしていくことが必要だと思います。私自身も、自分のことを知ってもらいたいと思うからです。

そのために、私ができることとして、私自身勉強不足なので、障がいのある方がどのような活動をしていらっしゃるのか調べ、仲間と一緒に、みんなで交流できるような場を考えていきます。

そこで、市では障がいのある方の経済的支援もしていただきながら、そういう場を作るための支援もしていただきたいと思います。

そういった活動から、お互いが自分の思いを発信し、相手の思いを受信することで知り合い、理解したいという気持ちが生まれてくるのではないのでしょうか。

さらに、相手に対して思いやりをもつことができれば、障がいがある方もそうでない方も、安心して生活できる市をつくっていただけるのではないのでしょうか。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 福祉部

【福祉・保健グループ】

穂高西中 内山 心乃

私は、穂高西中学校2年、内山心乃です。

私は、地域福祉についてお尋ねします。

私が思う課題は、高齢者の方が家に引きこもってしまうということです。

この課題がなぜおきているかという、高齢者の体力低下が進んでいるからです。体力が低下すれば、外に出られる気力もなくなってしまいます。そして、これに伴い、認知症患者も増加しています。果たしてこのような日常で高齢者の方は毎日幸せに暮らしているのでしょうか。

そこで私は、次の二つの対策を考えました。

一つは、高齢者の方の生きがいつくりです。例えば、地域の催しに興味をもってもらえるようにすれば、自然に体も動き、外に出られるようになります。

二つ目は、高齢者と若者の交流です。私たち若い世代が話し相手になって話したり、体を動かしたりすれば、若者との交流で脳の活性化や体力増加が期待されます。

その実現のため私ができることは、地域のことへ積極的に参加することです。現在、私が住んでいる地域は高齢化が進んでいます。そのため、私は、積極的に高齢者の方と交流して身近にできることから課題解決に努めたいと思います。

そして、市にお願いしたい対策は、高齢者の方中心の、興味をもってもらえるような行事づくりです。催しもただやるのではなく、高齢者の方がどのようなことに興味をもっているのかを直接聞くことが大切だと思います。

二つ目は、誰もが輝き幸せを感じられる市をつくることです。若者だけが輝き、移住してくる市ではなく、高齢者も若者も互いに助けあい、移住してきた人も将来に不安をもちずいつまでも安心して暮らせる市。そして健康長寿全国上位の市になれば、若者から高齢者まで皆が幸せに輝いて暮らせます。なので、まず、高齢者の方が率先して輝く市にすれば安曇野の未来は明るくなると思います。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 福祉部